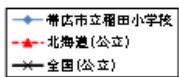


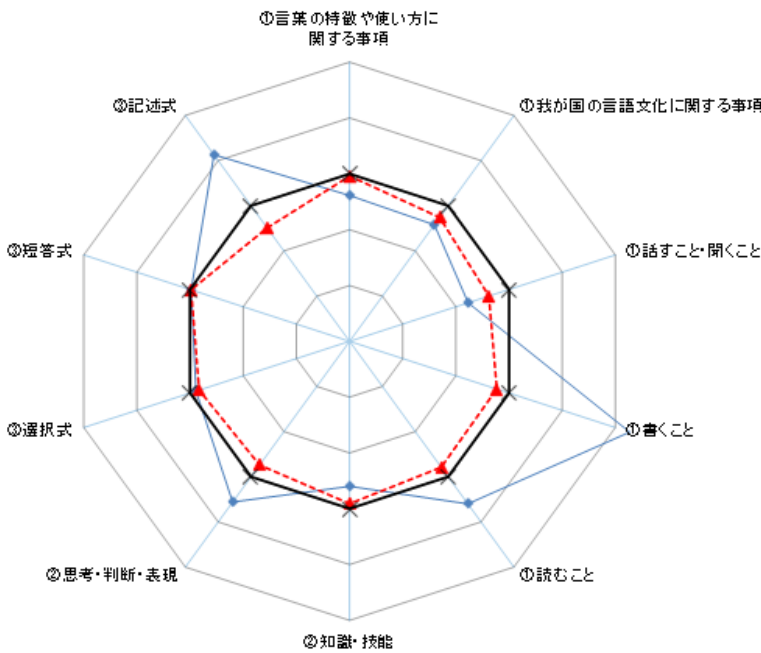
R4稲田っ子に付きたい学力 ～基礎・基本の定着

今年度も、全国学力・学習状況調査の全国的な分析結果や傾向等は、新聞報道等で公表されました。本校におきましても「学力向上会議」を開き、全職員で分析を進めており、本校の児童の学力の実態の共通理解をはかっているところです。今年度は3年ぶりに理科も実施しました。

本校児童の学力（国・算・理）と質問紙について成果や課題をお伝えいたします。



国語

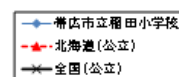


<国語の基礎・基本の定着について>

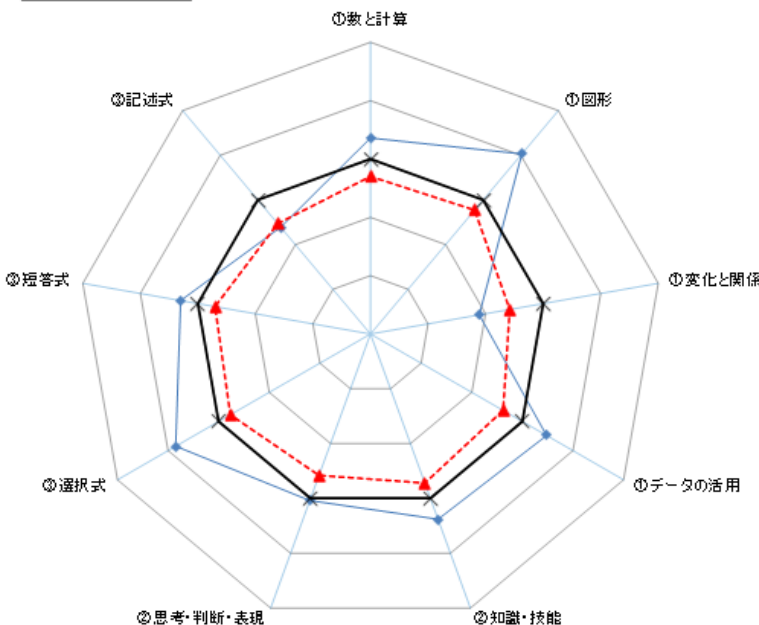
- 全体的な正答率は全国平均を上回っている。
- 書くことの領域や記述式の問題で全国平均を上回っている。
- △漢字（録画）の正答率が低い。
- △話すこと・聞くことに関する力に課題がみられた。

<今後に向けて>

- 学校全体の日常の取組として、条件に合わせて文章を書く問題に成果が表れているので、継続して進めていく。今後は、国語で培った力を他教科でも生かせるような指導を図る。
- 話すこと・聞くことについては普段の授業で意識した指導を図る。



算数

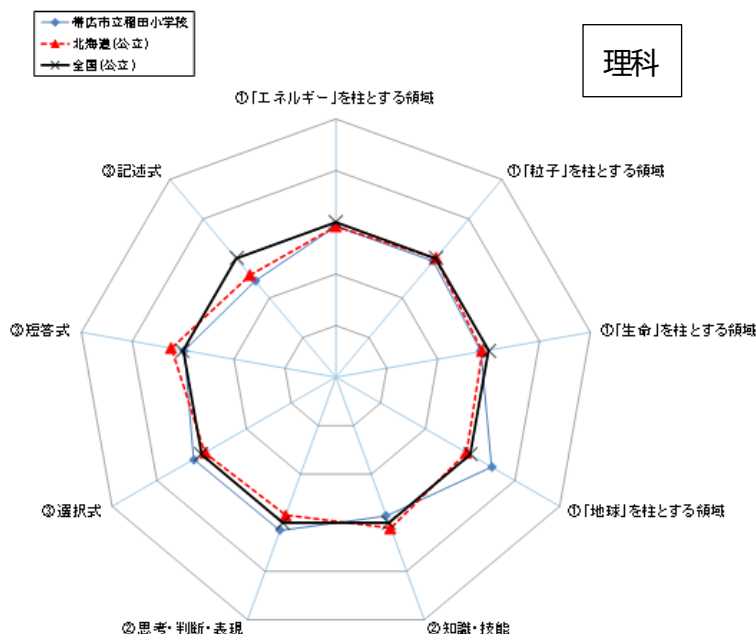


<算数の基礎・基本の定着について>

- 全体的な正答率は全国より上回っている。
- 図形やプログラミング的思考を問う問題の正答率が全国より上回っている。
- △記述式の問題の正答率が全国より下回っている。
- △変化と関係（割合）の正答率が全国より下回っている。

<今後に向けて>

- 実生活と結びつけた数学的思考力を高める指導を図る。日常の授業において、課題提示を工夫するなどの授業改善に取り組む。



＜理科の基礎・基本の定着について＞

- 全体的な正答率は全国を上回った。
- 「地球」を核とする領域で天気と気温の関係をグラフから読み取る問題が全国を上回った。
- △ 記述式の問題の正答率が全国を下回った。
- △ 光の性質を問う問題の正答率が全国を下回った。

＜今後に向けて＞

- 知識（理科の用語）の定着を図る。
- 複数のデータやグラフを即時に読み取る力を高める指導の工夫を図る。
- 自然の不思議さや面白さを実感し、知識と結びつけながら課題解決を図る授業改善を図る。

児童質問紙の結果から

児童質問紙では、児童の学習の様子や生活の習慣などの様子を調査しています。今回の調査ではICT 機器の活用についての質問項目が増えました。本校でもタブレット端末導入にとともに、授業や家庭で活用する場面が増えました。ICT 機器を活用しながら学びを深めていく学習スタイルのさらなる定着に向けて取り組んでいきます。

	質問項目	稲田小学校	全国	昨年度の稲田小学校
規 範 意 識	・自分にはよいところがあると思う	↓	○	↓
	・人の役に立つ人間になりたいと思う	↓	○	↓
	・将来の夢や目標をもっている	↓	○	→
	・いじめはどんな理由でもいけない	↑	○	→
学 習 ・ 生 活 習 慣	・授業以外に、普段 1 日あたり 1 時間以上勉強する。	↓	○	↓
	・家で自分で計画を立てて勉強している。	↑	○	↑
	・朝食を毎日食べていますか	↓	○	↓
	・普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、ICT 機器を勉強のために使っていますか。（30分以上と答えた割合）	↑	○	↓

	・普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間ゲームをしますか。（4時間以上と答えた割合）	↑	0	↑
学 習 へ の 意 欲	・算数の勉強が好き。	↓	0	↑
	・算数の授業の内容はよくわかる。	↑	0	↑
	・国語の勉強は好きですか。	↓	0	↓
	・国語の授業内容はよくわかりますか。	↓	0	→
	・理科の勉強は好きですか。	↓	0	
	・理科の授業内容はよくわかりますか。	→	0	

本校の児童の特徴として、学習への意欲がやや低いのに対し、授業ではよくわかると回答している児童が多いことが挙げられます。「自分にはよいところがある」など自己肯定感や自己有用感を高めることで、児童の強みを実感し、自分に自信をもつことで相互作用が働くと考えます。また、ICTの利用については、授業での効果的な活用について研修を進めてきており、一定の効果が表れています。一方で、家庭でのゲームの時間や家庭学習の時間については課題が見られる結果となったので、今後は家庭と連携を図りながら、指導を進めていきます。

質問項目の「家で自分で計画を立てて勉強する」項目が昨年と同様、大きく上回りました。学習習慣が身に付き、学習への意欲につながっていくことは言うまでもありません。しかし、普段の家庭学習時間については1日1時間以上勉強する児童が全国平均より下回っていることから、「自分で計画を立てて学習する」ことの実践についても、家庭と連携を図っていく必要があります。

今後も、安心・安全な学校と学びの充実を図り、みんなが自慢の稲田小学校となるよう、教職員一丸となって取組を進めていきたいと思えます。